



(1/4)

20220318 評基認第 003 号  
2022 年 5 月 12 日

# 認 定 証

独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターは、以下の適合性評価機関を ASNITE 認定プログラムの試験事業者として認定する。

認 定 識 別: ASNITE 0104 Testing

適合性評価機関の名称: 株式会社産業分析センター  
草加試験所及び松山試験所

法人の名称: 株式会社産業分析センター

適合性評価機関の所在地: (草加試験所)  
埼玉県草加市谷塚二丁目 11 番 7 号  
(松山試験所)  
栃木県真岡市松山町 1 番地

認 定 範 囲: 別紙のとおり

認定要求事項: ISO/IEC 17025:2017  
認定スキーム文書 (ASNITE-T (E)) に  
記載した認定要求事項

認定発効日: 2020 年 4 月 24 日

認定の有効期限: 2024 年 4 月 23 日

初回認定発効日: 2013 年 12 月 20 日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター所長

斉藤和則

- ・ IAJapan (独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター) は、ILAC (国際試験所認定協力機構) 及び APAC (アジア太平洋認定協力機構) の MRA (相互承認取決め) に署名している認定機関です。
- ・ 相互承認取決めに係る要求事項は、認定の基準 (該当する国際規格) 適合義務の他に、技能試験参加要件及び定期的な審査の受審並びに MRA 対応事業者に対するトレーサビリティ要求事項 (方針) を指します。
- ・ この事業者は ISO/IEC 17025:2017 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項に適合しています。この認定は当該事業者が認定された範囲において一貫して技術的に有効な試験結果及び校正を提供するために必要な技術能力要求事項及びマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものです (2017 年 4 月 ISO-ILAC-IAF 共同コミュニケ参照)。
- ・ IAJapan ウェブサイトで公開している認定証が最新の認定情報です。

事業所名：株式会社産業分析センター草加試験所

事業所所在地：埼玉県草加市谷塚二丁目11番7号

実施する業務：マネジメントシステム運用、サンプリング、試験業務、結果の報告

認定区分			試験項目/ 試験対象	試験規格番号	認定発効日
カテゴリー	サブ カテゴリー	試験技術			
環境	水質	イオン電極法 (含むpH測定)	pH/ 排水、水溶液（サ ンプリングを含 む）	昭和37年厚生省・建設省令第 1号 昭和46年環境庁告示第59号 昭和49年環境庁告示第64号 JIS K 0102 12. JIS Z 8802	2020年 4月24日
		GC/MS（ガス クロマトグラ フィー質量分 析法）	VOC11物質/ 用水、排水（サン プリングを含む）	昭和49年環境庁告示第64号 JIS K 0125 5.2	2020年 4月24日
			VOC12物質/ 環境水（環境基 準項目）（サン プリングを含む）	昭和46年環境庁告示第59号 JIS K 0125 5.2	2020年 4月24日
			VOC7物質/ 環境水（要監視 項目）（サン プリングを含む）	平成5年環水規第121号 JIS K 0125 5.2	2020年 4月24日
			VOC13物質/ 地下水（サン プリングを含む）	平成9年環境庁告示第10号 JIS K 0125 5.2	2020年 4月24日
			VOC11物質/ 下水（サン プリングを含む）	昭和37年厚生省・建設省令第1 号 JIS K 0125 5.2	2020年 4月24日
			VOC13物質/ 土壌	平成3年環境庁告示第46号 JIS K 0125 5.2	2020年 4月24日
<p>* VOC11物質：ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、 シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、 トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、ベンゼン</p> <p>* VOC12物質：上記11物質に1,4-ジオキサンを加えたもの</p> <p>* VOC13物質：上記11物質（但しシス-1,2-ジクロロエチレンを除く）に1,2-ジクロロエチレン、 1,4-ジオキサン、クロロエチレンの3物質を加えたもの</p> <p>* VOC7物質：クロロホルム、トランス-1,2-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロプロパン、 p-ジクロロベンゼン、トルエン、キシレン、クロロエチレン（塩化ビニルモノマー）</p>					

## 草加試験所（つづき）

認定区分			試験項目/ 試験対象	試験規格番号	認定発効日			
カテゴリー	サブ カテゴリー	試験技術						
化学製品	成形品・ 部材	紫外・可視吸 光光度分析法	Cr (VI) / 金属材料	IEC 62321-7-1	2020年 4月24日			
			Cr (VI) / ABS	IEC 62321 附属書 C	2020年 4月24日			
			Cr (VI) / ポリマー、電子機 器	IEC 62321-7-2	2020年 4月24日			
		ICP/MS(誘導結 合プラズマ質 量分析法)	Cd、Pb、Hg、Cr/ 高分子材料、金属 材料、電気電子部 品	IEC 62321-4	IEC 62321-5	2020年 4月24日		
				IEC 62321-5				
		IC (イオンク ロマトグラ フィー)	Cl、Br/ 樹脂・ゴム関連製 品 *1	BS EN 14582 *2	IEC 62321-3-2	2020年 4月24日		
				Br/ 高分子材料、電子 部品				
				F、Cl/ 高分子材料、電子 部品				
				I/ 高分子材料、電子 部品				
				Cl、Br、F、I/ はんだ付け材料			JEITA ET 7304A 附属書 B	2020年 4月24日
				GC/MS (ガス クロマトグラ フィー質量分 析法)			PBB、PBDE/ 高分子材料、電子 部品	IEC 62321-6
		フタル酸エステル 類 (DEHP、BBP、 DBP、DIBP) *3/ 高分子材料、電 子部品						

## 【一部変更内容】

- \* 1 ハロゲン化合物(Cl、Br)を含有する樹脂・ゴム関連製品であって、自動燃焼装置（石英管燃焼法）の焼却処理によってもガス化しない成分を含有しないもの。
- \* 2 BS EN 14582 EN規格の酸素ボンベ法の焼却前処理手順に代えて、自動燃焼装置を使用する。
- \* 3 DEHP：フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）、BBP：フタル酸ブチルベンジル、DBP：フタル酸ジブチル、DIBP：フタル酸ジイソブチル
- \* 4 熱分解装置/加熱脱着装置（Py/TD-GC-MS）は、除く。

事業所名：株式会社産業分析センター松山試験所

事業所所在地：栃木県真岡市松山町1番地

実施する業務：マネジメントシステム運用、試験業務、結果の報告

認定区分			試験項目/ 試験対象	試験規格番号	認定発効日
カテゴリー	サブ カテゴリー	試験技術			
化学製品	金属	発光分光分析法 (ICP/AESを除く)	Sn、Pb、Ag、Sb、Cu、 Bi、In、Zn、Fe、Al、 As、Cd、Au、Ni、Ge/ はんだ	JIS Z 3910 14. *1	2020年 4月24日
		ICP/AES(誘導結合プラズマ発光分光分析法)	Pb、Ag、Sb、Cu、Bi、 In、Zn、Fe、Al、As、 Cd、Au、Ni、Ge/ はんだ	JIS Z 3910 13. *2	2020年 4月24日
		ICP/MS (誘導結合プラズマ質量分析法)	Pb、Ag、Sb、Cu、Bi、 In、Zn、Fe、Al、As、 Cd、Au、Ni、Ge/ はんだ	JIS Z 3910 13. *3	2020年 4月24日
		容量分析(滴定法)	Ag/ はんだ	JIS Z 3910 9. *4	2020年 4月24日

【一部変更内容】

- \*1 JIS Z 3910 14. スパーク放電発光分光分析法に用いる検量線用試料中の成分測定方法はICP分析法を用いるが、その測定手順がJISの方法と異なる。
- \*2 JIS Z 3910 13. JISの王水の溶解液に代えて、塩酸と硝酸の混合比が異なる溶液を使用する。
- \*3 JIS Z 3910 13. JISのICP/AESに代えて、分析機器にICP/MSを使用する。
- \*4 JIS Z 3910 9. JISのチオシアン酸カリウム滴定法に代えて、電位差滴定法を使用する。

(以上)